

ウプト

w p w t



ウプトとは、古代エジプトのヒエログリフ（象形文字の一種）で、「伝達する人」の意味。エジプト古王国の碑文などに見られ、19世紀初めにフランスのシャンポリオンが解読している。



特集

ちゅとらカップ4時間耐久リレーマラソン(2024年1月27日)

4年生が語る内定への道

自分のからだを知り、 生きるということ

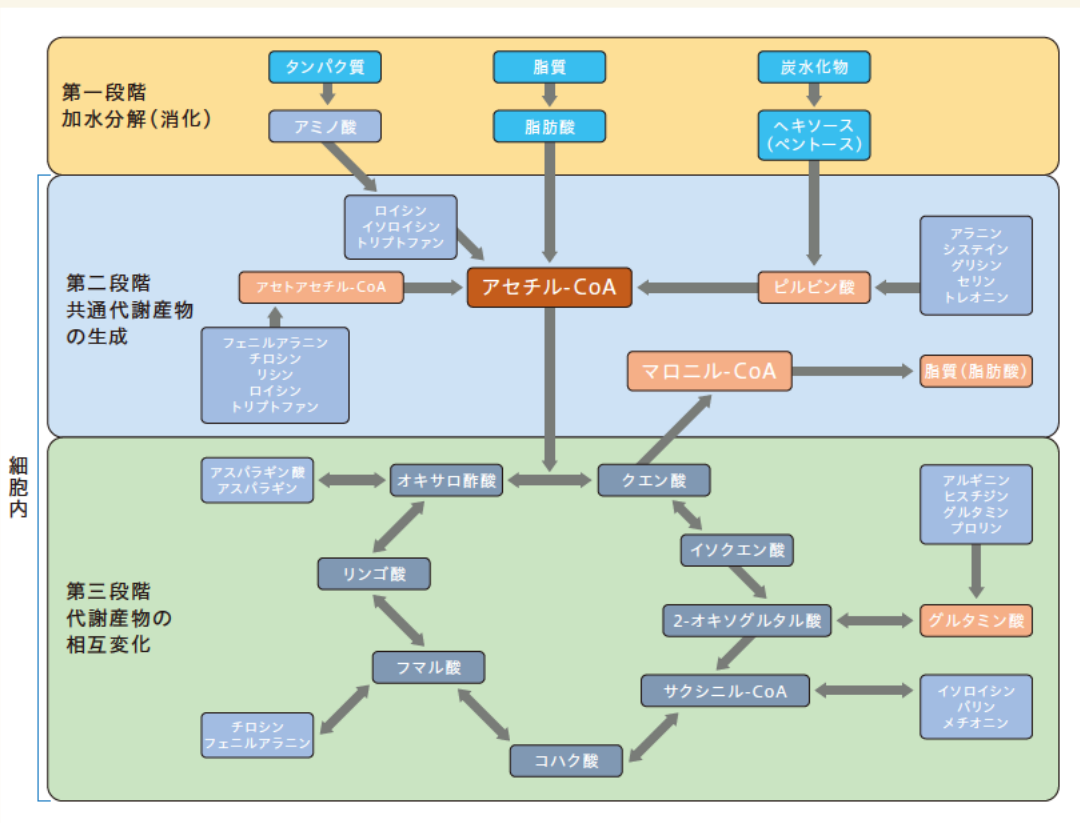
生命医科学科 西沢 祐治 教授

解剖学というと日本では医療系の大学・専門学校でのみ学べるのが常識となっている。諸外国では、解剖学や人体の構造と機能を学ぶ場面がより多様のように思われる。これには、諸外国における健康や身体活動への高い意識が背景にあると考えられる。

私は名古屋大学医学部解剖学教室で14年間人体解剖学実習に携わった後、中部大学に赴任してから人体解剖見学実習に15年間携わってきた。この長期間にわたる経験は、私にとって単なる職務以上のものであり、深い学びと自己発見の旅であった。数えてみると、この間におよそ450体の正常な人体、そして生前病を抱えていた体を解剖・観察させていただいたことになる。そして人体が持つ複雑で精密な構造の美しさと驚異に、何度も心を打たれた。精いっぱい生きてこられた方々の体を解剖・観察させていただくたびに、この方々の体が、それぞれの人生を支えてきたのだという畏敬の念を感じざるを得ない。それぞれの体には、その人の生きた証が刻まれており、それぞれに深い物語が込められている。

私たちの体は、神経系、筋系、骨格系、循環器系、消化器系、呼吸器系、内分泌系といった多様なシステムの緻密な連携によって成り立ち、私たちの健康と活動を支えている。その複雑で緻密な構造を作り上げるために、アミノ酸や脂質、そして糖

食物の分解吸収から体の材料ができるまで



CONTENTS

桃園四季 P01

自分のからだを知り、生きるということ
西沢 祐治教授

特集 P03

4年生が語る内定への道

TOPIC P07

2023年度
学びに関する調査結果の報告

学生編集委員のページ P11

こんな時どうする?!

ようこそが研究室へ P13

雷害対策の研究と
自分を磨くための時間
山本 和男研究室

わがクラブ P14

個性輝くメンバーと夜空を眺める
天文研究会

A Friend from Abroad P15

中国人における
複合動詞の習得を研究
樂 啓鵬さん

私の学生時代 P16

「やってみたい」で駆け抜けた4年間
佐々井 真知准教授

CAMPUS NEWS P17

2023年度学長表彰の会 etc.

Random Shot P21

学生の成長する姿が原動力
森田 浩一郎さん

活躍するOB P22

栄養管理で命を支える
高田 陸人さん



西沢 祐治

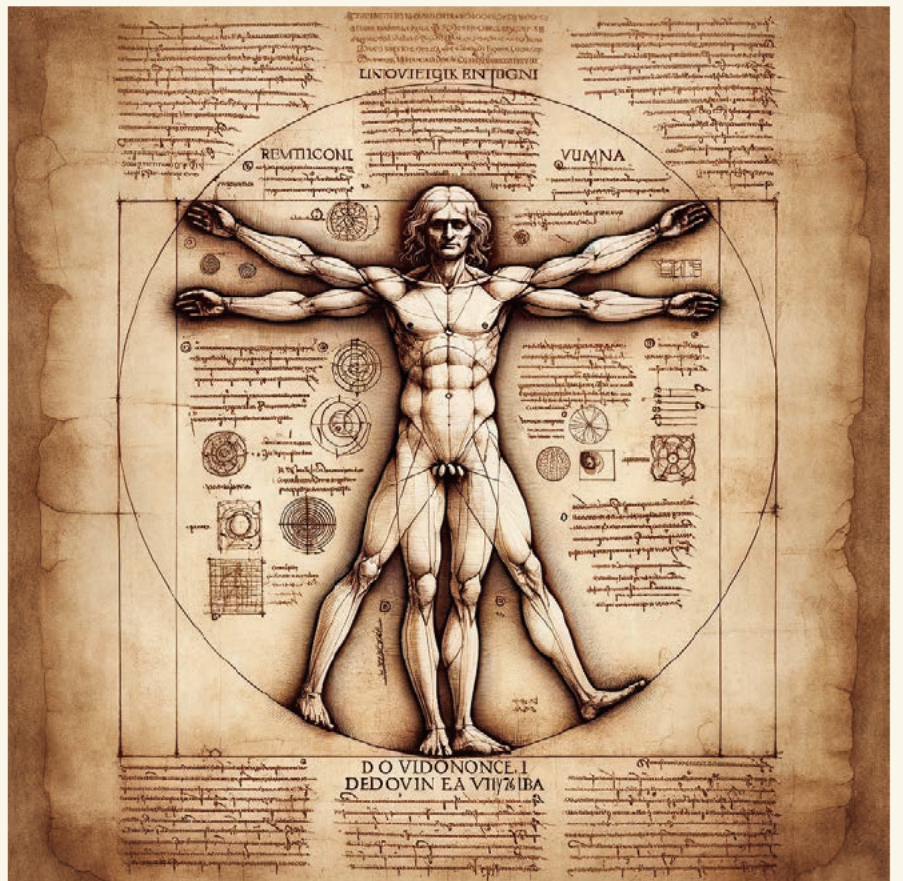
にしざわ ゆうじ

名古屋大学理学研究科分子生物学専攻博士課程単位取得退学。博士(理学)。理学部から医学部解剖学教室へ就職した変わり種。研究分野は電子顕微鏡を用いた病態解析。PC/ハードウェアや生成AIなどのソフトウェアの最先端科学技術をチェックするのが趣味。

質などの驚くほど単純な構造の材料が使われている。私たちの体は、食事を材料として、体の状態を一定に保つための新陳代謝を行っている。例えば、お勧めはしないが、ファーストフードを1日3食1カ月間続けても、1カ月後のあなたの外見はほとんど変わらないだろう。この事実は本当に驚異的なことだ。しかし、偏った食生活が長期にわたると、あなたの体の構造は顕微鏡レベルで壊れていき、やがて高度な新陳代謝のシステムでもリカバリーできなくなり、健康にさまざまな悪影響を及ぼす可能性がある。バランスの取れた食事は、必要なアミノ酸、脂質、糖質を適切に供給し、体の各システムが円滑に機能するための基盤を作る。

解剖学を通じて、私は自分自身の体をより深く理解するようになった。健康を維持し、病気を予防するには、まず自分の体を知り、日々の食事がどのように体を形作るのかを理解することが不可欠だ。

大学生というまだまだ若いあなたに、ぜひ解剖学に親しんで自分の体を知り、健やかに人生を生きてほしいと願う。



DALL・E3(生成AI)で作成したLeonardo da Vinci's Vitruvian Manにインスパイアされたイラスト

清水建設株式会社

建築学科 出口 彩優菜さん

A. ①1社 ②1社 ③3年生5月



授業で清水建設の緻密な設計について知り、魅力を感じて志望しました。倍率が高く不安でしたが、身近にいる社会人の方と積極的に交流し、視野が狭くならないように心掛けました。また、面接で自分の作品をポートフォリオにしてプレゼンテーションをしました。講義で住宅やオフィスビルなどの設計を実践的に学んでいたため、自信を持って話すことができました。エントリーシートや面接のコツはSNSの就職関連アカウントで得ることもお勧めです。

中部電力ミライズ株式会社

応用化学科 安田 志穂さん

A. ①3社 ②3社 ③3年生5月



インターンシップや就職イベントの参加などは、事前準備をしっかりとすることが、順調に活動を進められたポイントだと思います。活動を開始する時期が年々早くなっているため、1・2年生もまだまだ先のことを考えず、イベントなどには積極的に参加して志望する業界や職種を早い段階で決めておく良いと思います。

「就職活動は準備が9割」だと言いますが、本当にその通りです。自己アピールできる得意なことがないから、などと諦めずに今できることを探してください。

富士ソフト株式会社

情報工学科 村瀬 雷斗さん

A. ①9社 ②2社 ③3年生7月



内定先はソフトウェアの開発・販売を行う企業で、IT企業に興味があったため志望しました。

志望動機を丸暗記すると緊張で言葉が出てこなかった時に焦ってしまうので、面接時にはキーワードだけ覚えて自分の言葉で話すよう意識しました。

就職は将来の人生が大きく左右されるので悩むと思います。時間がないと焦りが生まれて冷静な判断ができなくなるので、早い時期から就職活動をしてください。

株式会社東海理化電機製作所

ロボット理工学科 岡田 聡花さん

A. ①6社 ②2社 ③2年生2月



就職活動では、同じ企業でも別のイベントが開催されるたびに参加しました。そうすることで早い段階で選考の情報を得ることができます。

内定先は就職活動サイトのオンライン説明会で知りました。人間工学に基づいた設計をする会社の技術面に魅かれ志望しました。

最初の面接がオンラインだったため、面接官の反応が分かりにくく、緊張してうまく話せませんでした。しかし、対面では落ち着いて自分の言葉で発言することができました。

三菱電機株式会社

機械工学科 大矢 大輝さん

A. ①12社 ②6社 ③3年生5月



私は自分の性格上、活動を続けていないとすぐに手を抜いてしまうのではないかと考えていたため、少しでも興味のある企業は全て説明会に参加するようにしました。

筆記試験では8割程度は解けるようにしておいた方が良いと思います。また、面接では「学生時代に力を入れたこと」について、なぜそれを行ったのか、どのような困難を乗り越えたのかなどを上手に説明できることが大切だと思います。

愛知県庁 (技術職)

都市建設工学科 杉山 慧士さん

A. ①9社 ②1社 ③3年生8月



就職活動を始めた当初は、企業と自治体の両方を考えていたため業界研究会などに参加し、先生や両親にも相談して自分に合うところを探しました。公務員は基本的に発注側となるため工事の全行程を見ることができて、いろいろな経験が積めると思い志望し、独学で試験勉強をしました。

面接では印象が一番大事なので、事前に質問を想定して回答を整理し、メモしておくことで面接時に答えやすくなると思います。

特集

内定への道

4年生が語る



今春卒業する4年生の就職活動体験記をご紹介します。

総合大学とあって、内定先は実にさまざま。

就職活動中の皆さんも、これから始める皆さんも

ぜひ参考にしてください。

Q. ①受験社数 ②内定社数 ③就職活動の準備を始めた時期

株式会社マイナビ

日本語日本文化学科 上杉 倅穂さん



A. ①11社 ②4社 ③3年生3月

就職活動を何から始めて良いか分からなかったため、キャリア支援課に相談しました。職員の方がとても丁寧にアドバイスくださり、選考が進むたびに一緒に考えてくださいました。

自己分析を念入りに行うことで、自分の適性や性格が理解でき、自分の魅力が伝えられるようになると思います。

就職活動をしていると不安になって落ち込むこともあるかもしれませんが、頑張っている自分を信じて前向きに考えてください。

株式会社JTB

英語英米文化学科 和泉 颯真さん



A. ①5社 ②4社 ③3年生12月

3年生の8月～12月まで留学していたため、同級生より準備期間が短く苦労しました。自己分析をすることが大切だと考えたため、自分とは何者なのかを毎日のように考えていました。

内定先は大手旅行会社で、留学で感じた海外交流の素晴らしさや旅行の楽しさを伝えたいと思い志望しました。

就職活動は、自分自身をどれだけ理解できているかが重要だと思います。自己分析をしっかり行ってから面接に挑むことが内定への近道になると思います。

大林道路株式会社

コミュニケーション学科 林 香帆さん



A. ①2社 ②1社 ③3年生4月

就職活動で困ったことがあればすぐにキャリア支援課に相談に行きました。面接では、一次面接での面接官の名前を覚えておくと、二次面接の時に会話が弾みます。事前に今後の自分のキャリアプランを明確にしておくと思いいます。

大学が開催している企業説明会には積極的に参加して、いろいろな職種の会社の説明を聞いてみてください。自分に合う会社が見つかると思います。

兼房株式会社

心理学科 鈴木 悠太さん



A. ①3社 ②3社 ③3年生8月

内定先は海外でも販売を行う工業用刃物メーカーで、元々日本の魅力や世界に発信する仕事がしたいと思っていました。

就職試験では、事前準備が最も重要だと思います。私は筆記試験以外の全てをキャリア支援課に相談しました。第三者に見てもらうことで初めて気付くことも多いので、大いに活用してください。

活動中に自分のやりたいことが見つかることもあるので、最初から職種や業種を限定せずに幅広い視野で探してみてください。

株式会社SUBARU

電気電子システム工学科 川口 幸輝さん



A. ①15社 ②7社 ③3年生7月

情報収集はInstagramの就職関連アカウント、エントリーシートや面接対策は、YouTubeなどを利用していました。

インターンシップに参加した企業のメンター制度を活用し、社員の方にエントリーシートを添削していただきました。

エントリーシートや面接で一貫性を持たせることが大切だと思います。自分の活動の目的や理由をしっかりと語ると面接官から高評価を得られると思います。

全日本空輸株式会社

宇宙航空理工学科 石川 未祈さん



A. ①3社 ②1社 ③3年生5月

内定先は、小さい頃から旅行の際に利用していた航空会社で、グッズを集めるほど好きでした。インターンシップに参加した際、自社だけではなく日本の航空業界全体の技術力向上を目指していると聞き、自分も貢献できればと思い志望しました。

就職活動では、早い時期から活動を始めて情報を多く集めた人が有利だと感じました。そのため、少しでも興味のある企業のインターンシップに積極的に参加した方が良いと思います。

就職活動は、諦めず最後まで頑張り抜くことが大事です。頑張ってください。

リコージャパン株式会社

経営総合学科 伊藤 夕叶さん



A. ①5社 ②3社 ③3年生2月

元々環境分野に興味があったため、SDGsや環境対策に力を入れている会社に絞って活動しました。

就職活動中は、同じ時期に活動をしている友人と頻りに連絡を取り合っていました。一人頑張るのではなく、友人と情報を共有し、悩みを相談し合ったことで、乗り越えられたと思います。

内定をもらう時期や受ける会社の数は人それぞれです。周り比べて焦らずに自己分析をしっかりして、自分に合った方法で就職活動を頑張ってください。

文化シャッター株式会社

国際学科 大谷 彰吾さん



A. ①8社 ②6社 ③3年生12月

野球部に所属していたので体育会系の学生を対象とした求人サイトやアプリの他、先輩などから情報を得ました。

就職活動では体調不良などで日程変更をすることがないよう、体調管理にも気を付けました。

企業や職種について、しっかりと研究しておくことが大切だと思います。その上で、自分に合っているか、やりたいことが何なのか見極めていくと方向性が定まり、内定にも近づくとと思います。頑張ってください！

医療法人医誠会神崎中央病院 (管理栄養士)

食品栄養科学科
管理栄養科学専攻

西村 瑛美理さん



A. ①3社 ②1社 ③3年生2月

病院の理念と新人教育が充実していることに魅力を感じて志望しました。面接ではその職種で働きたいという強い意志と、就職後も学び続けて成長したいことをアピールしました。どの面接でもなぜ管理栄養士を選んだのかを聞かれました。私は食べることが好きで「食」で人の役に立ちたいと思っていたので、その気持ちを自分の言葉で簡潔に伝えました。周りとは比べず、自分が納得いくまで諦めずに活動をしてください。応援しています。

名古屋大学医学部附属病院 (臨床検査技師)

生命医科学科 田口 遥都さん



A. ①1社 ②1社 ③3年生9月

内定先は、実習でお世話になった病院です。三次救急病院としてさまざまな疾患の拠点病院として多くの症例を取り扱い、幅広い検査を実施しているため、自身のスキルアップにつながると思い志望しました。就職活動に関する情報は、学科の卒業生の就職体験記などから得ていました。国家試験の勉強と就職活動の両立はとても大変だと思います。何事も早めに行動し、余裕をもって就職活動に取り組んでほしいと思います。

愛知医科大学病院 (看護師)

保健看護学科 関島 那奈美さん



A. ①1社 ②1社 ③3年生7月

就職活動に関する情報は看護学生専門の求人アプリや50号館3階にある就職の資料室から得ていました。臨地実習と並行しながら就職活動をしていたので、体調を崩さないよう感染対策に気を付け、計画的にスケジュールを立てて活動していました。一人で悩まず、大学のキャリア支援課や、指導教授に相談するなどたくさん情報を集めてください。試験までに準備をしっかりし、当日は頑張った自分を誇り自信を持って挑んでください。応援しています！

医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院 (理学療法士)

理学療法学科 横井 里奈さん



A. ①2社 ②1社 ③4年生4月

内定先はC-NETで知りました。急性期医療を担う総合病院でさまざまな疾患を経験することができると思い志望しました。一度試験に落ちたこともあり、自分のモチベーションを保つことに苦労しました。不安を払拭するためにキャリア支援課やゼミの先生と面接の練習を繰り返しました。面接では事前に考えた文章に沿って伝えることよりも、伝えたいことを中心に話すことを心掛けると良いと思います。

日本通運株式会社

歴史地理学科 宮崎 陽平さん



A. ①22社 ②2社 ③3年生9月

普段から言葉遣いに気をつけて就職活動に取り組みました。また、コロナ禍だったため企業説明会や面接がオンライン開催で企業の雰囲気や取り組みに苦労しました。就職活動では自己分析が1番大切です。過去の自分を振り返り、好きなことや得意なこと、性格など自分自身としっかり向き合ってください。やりたいことが分からない場合は、「できること」を考えると進路が考えやすくなると思います。頑張ってください。

天野エンザイム株式会社

応用生物化学科 伊藤 秀美さん



A. ①14社 ②2社 ③3年生5月

就職活動に関する情報は、就職活動サイトやアプリ、キャリア支援課から届く志望業界のおすすめ企業一覧などから得ていました。内定先は医薬用・食品加工用の酵素材の製造をする企業です。講義で学んだ興味のある「酵素」を利用した医薬品や食品に魅力を感じて志望しました。自己PRは、企業が求める人物像に沿えるよう何パターンか用意しておく良いと思います。自分の気持ちに正直になって就職活動を進めてください。

林野庁 (国家公務員一般職)

環境生物科学科 坂井 大翼さん



A. ①3社 ②1社 ③3年生9月

元々、国家公務員を志望していました。身近に同じ試験を受ける人がいないため、相談ができずに苦労しましたが、キャリア支援課で小論文の添削や面接の練習を何度もしていただき対策しました。筆記試験では、過去問で出題数が多くて配点の高い分野や得意な分野を中心に勉強すると良いと思います。今の時代と少しずれた考え方になるかもしれませんが、これから40年以上続ける仕事と考え、後悔がないように活動してください。

株式会社ニチレイ

食品栄養科学科
食品栄養科学専攻 早川 佳汰さん



A. ①35社 ②7社 ③3年生4月

内定先は、冷凍食品などを製造する企業で、常識にとらわれずに挑戦するという企業理念「ハミダス」に強く魅力を感じて志望しました。エントリーシートでは、一度で理解できる文章を意識し、ガクチカ(=学生時代に力を入れたこと)では、「結果→状況の分析→課題の設定→行動→結果」の順番で回答しました。就職活動は、妥協せずに努力し続けることが重要です。新卒では誰にでもチャンスがあるので、努力を惜しまずに突き進んでください。

愛知県教育委員会 (小学校教諭)

現代教育学科
現代教育学専攻 高木 健人さん

A. ①1社 ②1社 ③2年生7月



教職課程センターの先生方や学部の方にアドバイスをいただきながら、採用試験の情報を集めました。教員採用試験は、教育に関する幅広い知識を求められるため早い時期からコツコツと勉強をしておく方が良いです。

面接では自分のこだわりやキャラクターを客観視し、面接官に明るく素直な印象を持ってもらえるようにしたことが内定を得たポイントだと思います。

愛知県教育委員会 (中学校教諭(数学))

現代教育学科
中等教育国語数学専攻 榎田 愛里さん

A. ①1社 ②1社 ③3年生4月



幼い頃から教員に憧れがあり高校の先生から後押しをしてもらったことがきっかけで教員を目指しました。

就職活動に関する情報は、受験方法はインターネット、面接対策は教職課程センターや東京アカデミーの講座への参加、所属学部の先生方から得ていました。

重要なのは面接試験だと思います。面接試験では、自分の取り柄である明るさを笑顔や声色で伝えるよう意識しました。また筆記試験の勉強をしっかりと行うことでその知識が面接にも生かせます。大変だと思いますが頑張ってください。

春日井市民病院 (作業療法士)

作業療法学科 服部 篤さん

A. ①1社 ②1社 ③4年生4月



就職に関する情報は、学科のGoogle Classroomに掲載された求人情報やインターネット、実習先の指導者に相談して得ていました。

内定先は救急搬送受け入れ数が愛知県内トップクラスの実績があるなど、さまざまな経験を積みスキルアップができると思い志望しました。

気になる病院があれば自分から連絡を取り見学に行ってください。後悔をしないよう早めに行動、納得できる就職先を見つけてください。頑張ってください!

JA愛知厚生連 安城更生病院 (臨床工学技士)

臨床工学科 伊吹 悠さん

A. ①1社 ②1社 ③3年生3月



内定先は地元の病院で、見学をした際の院内の雰囲気良かったため志望しました。

病院内部の情報は自分で調べるには限界があるので、先生や先輩、友人から積極的に情報を集めた上で、実際に見学して現場の空気感を肌で感じることが大切だと思います。

コミュニケーション力は面接でも仕事でも大切だと思うので、日ごろから積極的に人と関わりコミュニケーションをとることを意識すると良いと思います。

就職先が決定した皆さんへ

必ず大学Webサイト中部大学進路支援システム「C-NET」から進路報告登録をしてください。

就職活動を継続している皆さんへ

キャリア支援課では全員の進路が決定するまでサポートしています。就職先が未決定の方は、不言実行館ACTIVE PLAZA5階のキャリア支援課を訪ねてください。卒業後(既卒者に対して)も就職活動を支援します。

これから就職活動を行う皆さんへ

● 中部大学進路支援システム「C-NET」への登録は済んでいますか。登録することでさまざまなサービスが受けられます。

☑ 中部大学に届く「求人票」や先輩方の「就職活動体験記」の検索・閲覧ができます。

☑ 求人情報や各種行事に関する情報がメール配信されます。

☑ 学内の各種就職関連行事の申し込みができます。

☑ あなたの就職活動スケジュールを管理できます。

● 中部大学幸友会の「幸友ナビ」も活用しましょう。中部大生限定の就職サイトで、456社の法人会員企業からの求人を閲覧できます。

春日井市消防本部 (救急救命士)

スポーツ保健医療学科 青木 実歩さん

A. ①2社 ②2社 ③3年生5月



春日井市消防団中部大学機能別分団の活動中、春日井市消防署の方に分らないことや知りたいことを丁寧に教えていただいたことがきっかけで、春日井市消防本部への就職を目指しました。

筆記試験対策では、模試などで今の自分のレベルを知り、苦手項目を中心に勉強しました。

試験日や試験内容が自治体によって異なるので、早くから活動を始めることで余裕を持って取り組めると思います。

名古屋市職員 (保育職)

幼児教育学科 水谷 友香さん

A. ①3社 ②1社 ③3年生9月



就職活動に関する情報は、自治体のWebサイトを頻りに確認して得ていました。

名古屋市の試験は試験項目が多いため、優先順位を考えて工夫して対策をすると良いと思います。

面接は話す内容も重要ですが、明るい表情や話し方も重要だと思います。友人や先生と繰り返し練習することをお勧めします。

面接がとても重要です。志望動機や自己アピールなど、伝えたいことをまとめて表情や話し方に気を付けて頑張ってください!

「学びに関する調査」のねらい

学生の皆さんにとって、自身の「学修行動・学修成果の振り返り、目標設定と気づきの機会」となります。

同時に大学は、この調査から、皆さんの学修成果の達成状況や満足度を正確に把握・評価し、「教育内容や学修環境の改善・向上を図る」ことを目指します。

在学生調査 概要

	春学期	秋学期
調査日	2023年3月25～30日	2023年9月12～17日
回答者数	7,687名 (回答率96.1%)	10,202名 (回答率93.4%)
対象	学部2～4年生	学部生
方法	本学教育支援システム「Tora-Net Portal」で履修申告時に実施	

本学では「学びに関する調査」を実施し、学生の皆さんに毎学期の目標や学修の状況をはじめ、本学の教育やサポートに対する満足度を調査しています。

結果の報告 学びに関する調査

2023年度

TOPIC



回答ありがとうございました！



記述設問「中部大学に期待すること、より良くするためのアイデア」

春学期1,076件、秋学期1,391件のご意見をお寄せいただきました。

(キーワード Best 5)

【通学】【食堂・売店】【施設・設備】
【授業】【学費】

皆さんからのご意見は、学長が全て目を通し、大学のさらなる改善・向上に活用しています



ご意見・アイデアに対する主な改善項目

▶ バス降車場を9号館前へ変更

(授業日の一部時間帯)

2023年度春学期より、始発から1コマ目の始業時間までの時間帯に限り、名鉄バス中部大学線の降車場を9号館前に変更しました。



▶ 休講措置の対象の見直し

従来は暴風警報・特別警報発令の場合に限り、休講することとしてきましたが、近年の気候変動の影響による大雨の頻度増加に伴い、2023年度秋学期より公共交通機関の運行停止についても休講措置の対象とすることにしました。



▶ キッチンカー(移動販売車)の営業予定をアプリに掲載

中部大学公式アプリの「学食情報」に毎月の「キッチンカー営業予定カレンダー」を掲載するようにしました。



▶ 就活のサポートを強化

企業によるオンライン説明会や採用選考を受ける際に利用できるよう、キャリア支援課内に個人ブースを設置しました。また、3年生のガイダンス終了後もフォローアップ講座や4年生対象「夏の就活集中講座」などを開催し、必要に応じたサポートを行っています。



「学びに関する調査」に基づく主な改善項目を掲載

<https://www.chubu.ac.jp/about/university-activities/ir/kaizen/>

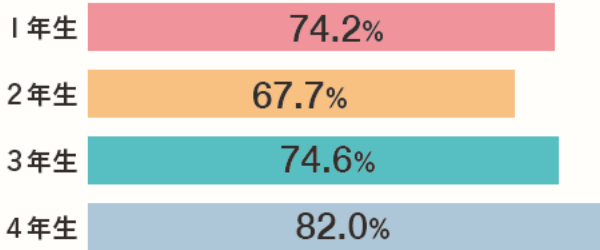


QRコードを読み込んで大学のドコが変わったか見てみよう



在学生調査 結果報告

Q. 2023年度春学期の授業における自身の目標を達成できましたか。 対象:全学年

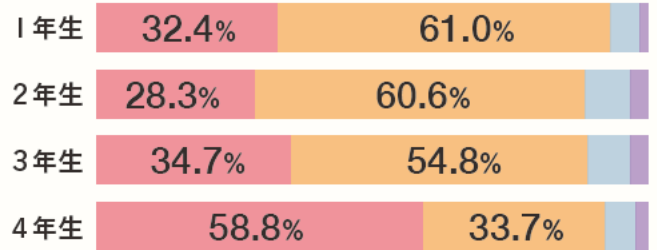


「達成できた・まあまあ達成できた」の割合



昨年度同様、2年生は、専門的な内容の授業が増えるため、目標達成度、理解度ともに他の学年より低く、難しいと感じた人が多いようです。2年生で専門の基礎を固めるのは、皆さんの成長に必要なステップなので頑張りましょう。サポートが必要な場合は、いつでも教職員や先輩たちに相談してください。

Q. 2023年度春学期の授業をどのくらい理解できましたか。 対象:全学年



■ ほぼ理解できた
■ いくつか理解できない授業があった
■ かなり理解できない授業があった
■ ほぼ理解できなかった

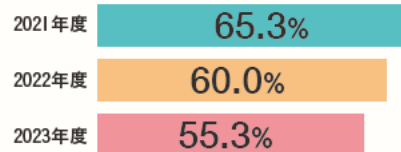
在学生調査 過年度との比較

学修行動

対象:全学年

Q. 前の学期に授業の予習・復習をどのくらいしましたか。
(レポートや課題に取り組んだ時間を含め、1日あたりの平均時間)

「1時間以上、授業の予習・復習をしている」の割合



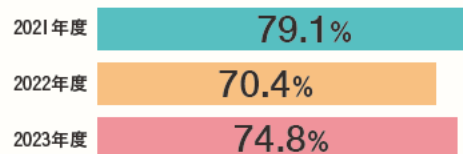
昨年度に引き続き、予習・復習の時間が減少しています。一方、アルバイトや課外活動の時間は昨年とほぼ同じでした。上手にスケジュールを管理して、学習時間を確保しましょう。

学生生活

対象:3年生

Q. 所属している学科で気軽にあいさつできる知り合いはいますか。

「たくさんいる・まあまあいる」の割合



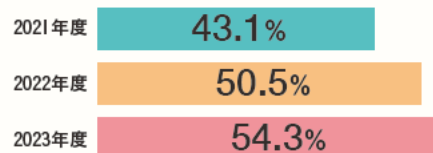
気軽にあいさつできる学生の割合が、昨年度と比較して4.4%上昇しました。全面対面授業や学内イベントの再開が、学生同士のコミュニケーションに良い影響を与えた結果と考えられます。

建学の精神

対象:1~3年生

Q. 中部大学の建学の精神「不言実行、あてになる人間」を知り、理解していますか？

「建学の精神を理解している」の割合



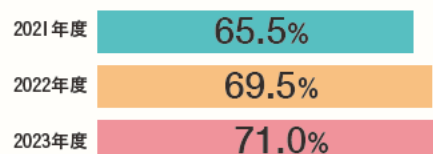
スタートアップセミナーで説明される建学の精神。2年連続で「理解している」と回答した人の割合が増えています。今後も建学の精神についてお尋ねしますので、きちんと理解しておきましょう。

大学への思い

対象:2~3年生

Q. 中部大学の学生として、誇りを持っていますか。

「誇りを持っている・少し持っている」の割合



「誇りを持っている・少し持っている」と回答した人の割合が2年連続で増えています。皆さんがさまざまな経験を積み、中部大生としての誇りを持って卒業できるよう、サポートしていきます。

新入生・卒業時調査から

▶ 新入生が不安に思うこと

新入生調査 (2023年度)

大学生活を送る上で不安に思うこと
(複数選択)

1位 / 大学の授業が理解できるか
2位 / 将来の進路(就職・進学)

卒業時調査 (2021・2022年度)

Q.自身の学修成果(結果)に満足していますか	満足・ほぼ満足	
	2021年度	2022年度
Q.自身の学修成果(結果)に満足していますか	84.0%	87.5%
Q.卒業後の進路に満足していますか	90.1%	91.0%



大学での学業や就職を不安に思う新入生に対して、卒業生の回答からは、自身の学修成果や進路に概ね満足していることが分かりました。また、満足度は上昇傾向です。皆さんも先輩たちのように満足して卒業できるよう、自身の目標に向けて努力を重ねていきましょう。

▶ 進路に関するサポート

卒業時調査 (2022年度)

進路決定に役立ったと思う大学のサポート

1位 / 就職ガイダンス 2位 / キャリア支援課のサポート
3位 / 学内企業説明会 4位 / 教員のサポート 5位 / エントリーシートの書き方相談



本学では、充実したキャリアサポートを提供しています。就職ガイダンスや企業説明会のほか、筆記試験対策用のWeb教材(就活ドリル)なども用意しています。皆さんもこれらのサポートを大いに活用してください。

▶ 学生生活で大切なこと

卒業時調査 (2021・2022年度)

卒業生が学生生活で大切だと思ったこと(複数選択)

2021年度	2022年度
1位 / 友人等との出会いや交流 64.9%	1位 / 友人等との出会いや交流 64.5%
2位 / 勉学に励むこと 59.3%	2位 / 勉学に励むこと 49.3%
3位 / 経験を豊富にして見聞を深めること 47.8%	3位 / 自由な時間を楽しむこと 49.1%



調査結果から、卒業生は勉学に励むだけでなく、自由な時間の使い方も重要だと感じていることが分かりました。趣味やリラックスする時間を上手に取り入れながら、効率的に勉強を進めたいですね。学生生活の貴重な時間を有効に使って、より多くのことにチャレンジしましょう。

在学生の皆さん、先輩たちの思いを参考に
実りある学生生活を送りましょう。



「学びに関する調査」新入生調査・卒業時調査 概要

	新入生調査	卒業時調査
調査日	2023年4月3~4日	2023年3月1~26日
回答者数	2,781名(回答率99.4%)	1,036名(回答率45.1%)
方法	教育支援システム「Tora-Net Portal」で実施	Googleフォームで実施
対象	学部新1年生	2022年度 学部卒業生

情報公表「データで見る中部大学」から

大学公式Webサイト内の情報公表「データで見る中部大学」には、入学者数や在籍者数など、中部大学の各種データを掲載しています。ここでは、「データで見る中部大学」の掲載情報の一部を紹介いたします。



「データで見る中部大学」Webサイトはこちら▲
<https://www.chubu.ac.jp/about/facts-figures/data/>

▶ ストレート卒業率 留年せずに4年間で卒業した学生の割合

2019年度入学生 81.0%
 2018年度入学生 79.5%
 2017年度入学生 80.2%
 2016年度入学生 79.7%

学部学科により偏りはありますが、全学部を平均すると留年せずに4年間で卒業するのは概ね5人のうち4人です。



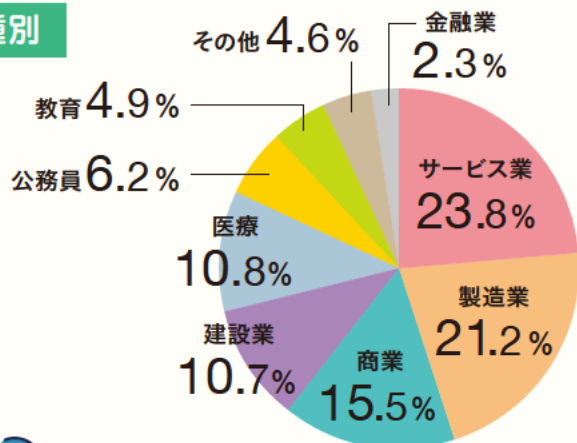
2019年度入学 ストレート卒業者の学年別平均総取得単位数



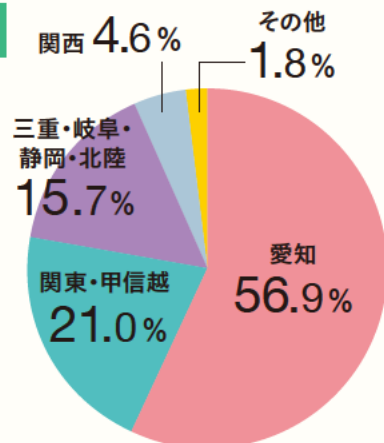
学部・学科により卒業要件は異なりますが、ストレートで卒業した学生は、2年終了時に、卒業に必要な単位数の3分の2を取得しています。

▶ 2023年3月卒業 学部生の就職先状況

業種別



地域別



中部大生の就職先は、さまざまな業種にわたっており、中部大学が総合大学ということが分かりますね。地域別では、愛知県が約57%で最多ですが、関東方面も21%と、地元に限らず広い視野で就職先を選択しているようです。

学生の皆さんへ 調査への協力をお願いします

たくさんの有益なご意見やアイデアをありがとうございました。
 これからも学生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう、改善・向上に努めていきます。
 次回以降の調査にも、どうか引き続きご協力をお願いします。



こんな時

学生編集委員のページ

学生生活で「こんな時どうしたらいいのかな...」と悩み、困ったことはありませんか？
今回の学生編集委員のページでは、



体調に関する悩み



体調を崩して講義に出席できません。

▼急引や通院、入院などによるやむを得ない理由があつて講義を欠席した場合は、科目担当教員に連絡し指示を仰いでください。後日、学生支援課にて欠席届を提出することができます。欠席届の用紙は、学生支援課窓口で受け取るか大学Webサイトの「在学生の方」にある「手続・証明書・願・届」からダウンロードできます。「在生」からダウンロードできます。証明書類の添付が必要で、体調不良であれば病院の診断書等、身内に不幸があつた場合は会葬礼状などを添付してください。なお、出欠に関しては科目担当教員に一任されているため、欠席届の提出により出席扱いになる訳ではありません。期末試験の場合は追試験の期間が設けられています。教務支援課へ試験日を含めて3日以内に連絡と欠席の証明になるものを提出してください。

【学生支援課・教務支援課】



骨折してしまい、学校に行けません。

▼体調が悪い場合と同じように、やむを得ない理由で講義を欠席した場合は、科目担当教員に連絡し、指示を仰いでください。後日、学生支援課にて欠席届を提出することができます。試験を受ける場合は、追試験について相談や質問がある場合は、教務支援課まで連絡してください。また、怪我や障害で通学や大学生活において支障が生じ授業に参加しにくい状況であれば、学生サポートセンターに相談することができます。一時的に自家用車の構内乗り入れや電動車椅子などの貸し出しをしています。大学生活に困ったことがあれば学生サポートセンターに相談すると一緒に考えてくれます。

【学生支援課・教務支援課・学生サポートセンター】



夜あまり眠れず、そのため授業中に眠くなっています。相談できる窓口はありますか？

▼睡眠についての相談には、睡眠相談室があり、生命健康科学部および臨床検査技術教育実習センターの協力を得て、週に1〜2日の相談日を設けています。相談には予約が必要です。9号館1階の健康増進センターの受付か、大学Webサイトに記載されている電話、またはメールから予約できます。

【睡眠相談室】

学業に関する悩み



成績表の見方がわかりません。今の修得単位で進級・卒業できますか？

▼Toanetで成績を見られるので確認してください。成績表の見方、進級・卒業に必要な単位数が分からない場合は、教務支援課で確認するようにお願いします。学生便覧で進級や卒業に必要な単位数を確認できます。履修申告の方法については、学生生活/授業/履修申告の手引き/に説明動画が掲載されているので見てみるといいかもしれません。

【教務支援課】



公式試合で休むことになりました。必要な手続きは？

▼大学のWebサイト「クラブ・サークル関連届出書」より公的課外活動欠席届をダウンロードして、必要事項を記入の上、終了後一週間以内に学生支援課に提出してください。また、クラブ活動をはじめ、大学祭実行委員会、フレッシュマンキャンプ、クラブ運営委員会の活動届はWeb申請が必須です。公的課外活動欠席届を、提出前には科目担当教員に連絡してください。場合によっては、レポートの提出

や課外提出等があるので、その時は教員の指示に従ってください。なお、出欠に関しては科目担当教員に一任されているため、公的課外活動欠席届の提出により出席扱いになる訳ではありません。※事前に認められた公式試合及び活動のみ対象

【学生支援課】



勉強についていきません。どうしたらいいですか？

▼まずは授業担当の先生に相談することが先決です。水曜日の4コマ目のP.S.H.に先生を訪ねましょう。一方、担当の先生に聞きづらい場合は、9号館1階の学習相談室を訪ねてください。予約不要で利用でき、ここでは、数学、英語、物理、化学の分からないところを質問できます。筆記用具とノート、教科書やプリントを持参して行けば教えてくれます。また、資格取得にも対応しています。

【学習支援室】



ウプト
学生編集委員の私たちが企画・取材しました



河村 明音
日本語日本文化学科
2年



西岡 夏実
ロボット理工学科
2年



塚本 愛美
ロボット理工学科
2年



熊野 千菜
環境生物科学科
3年



飯田 ひとみ
現代教育学科
4年



林 桃歌
現代教育学科
4年



石博 大宙
国際学科
4年

どうする？！

学生生活でのさまざまな悩みを解決するため、職員の方々にご協力いただきその解決方法の一例を紹介します。

?! Tori-Netにログインできません。どうしたらいいですか？

▼パスワードを忘れたためTori-Netにログインができない場合、不言実行館4階の学生支援課・教務支援課にある専用のパソコンからパスワードを再発行することができます。その他、コンピュータに関するトラブルは10号館1階にあるコンピュータ・サポートデスクに相談してください。アルバイトの学生やスタッフが対応します。

【コンピュータ・サポートデスク】

?! 授業でパソコンが必要なのですが、自分のパソコンが壊れてしまいました。借りることはできますか？

▼故障時にはコンピュータ・サポートデスクでパソコンの貸し出しを行っています。ただし、パソコンが必要な授業時間のみの貸し出しで、大学外に持ち出すことはできません。授業開始前に、コンピュータ・サポートデスクに申し出てください。また、修理する場合、中部大学支援モデルのパソコンであれば、10号館1階のコンピュータプラザ(フューチャーイン)に相談してください。

【コンピュータ・サポートデスク】

留学・国際交流に関する悩み

?! 留学生です。アルバイトをしたいのですが、どうしたらいいですか？

▼正規留学生と短期留学生によって対応が異なります。正規留学生は自身で資格外活動許可申請を行い、アルバイト先を探してください。ただし、資格外活動許可を受けていたとしても授業期間中の間は1週間に28時間以内、長期休暇中は1日8時間、週40時間までと決まっています。この時間数を超えると懲役や罰金、強制退去の処分対象となります。短期留学生は、国際センターへご確認ください。

【学生支援課・国際連携課】

?! 語学力を身に付けたいです。良い制度はありますか？

▼SI Roomのオンライン英会話とカンパセーションアワーがあります。オンライン英会話は、Zoomでフイリンの先生とマンツーマンで英会話ができます。Webサイトから予約すれば、無料で受講できます。カンパセーションアワーは、20号館2階のカラジック・ラウンジで平日午後3時30分〜4時30分に行われ、自由に外国語で会話が楽しめます。詳しくは、国際センターのWebサイトまたはSNSで確認してください。

【国際連携課】

その他の悩み

?! ハラスメントにあたるのではないかと感じています。どこに相談したらいいですか？

▼親、友人、先生など、まずは信頼できる相手に相談することが一番です。また、学校法人中部大学Webサイト「ハラスメントの防止等に関する指針」も確認してください。本学では複数の相談窓口を設置しており、選択肢として学生相談室があります。悩みは一人で抱えていることが一番危険ですし、相談相手は一人でなくても構いません。我慢せず相談しましょう。みんなでリレーし助け合ってサポートします。相談の内容や個人の秘密は厳守しますので、お気軽にお越しください。

【学生相談室】

?! 学内でのアルバイトを知りたいです。どこで求人されていますか？

▼不言実行館ACTIVE PLAZAの4階入ってすぐのホワイトボードに掲示しています。随時募集されることもあるので是非見に来てください。

【学生支援課】

ウプト学生編集委員募集中
いつからでも始められます。少しでも関心のある方は、学園広報部制作課(2号館1階)までお越しください。電話、メールでもお問い合わせが可能です。

☎ 0568-51-4465

(学園広報部制作課直通)

✉ seisaku@office.chubu.ac.jp

一緒に活動しませんか



阿部 倫弥
歴史地理学科
1年



江口 心
日本語日本文化学科
2年



小林 愛実
日本語日本文化学科
2年



伊藤 帆乃佳
日本語日本文化学科
2年

ようこそ

わが研究室へ

vol.182

電気電子システム工学科
山本和男研究室

雷害対策の研究と 自分を磨くための時間

山本研究室では、共同研究先と協力して風力・太陽光発電システム、乗り物（自動車、有人ドローン、鉄道、飛行機）を雷から守る方法について研究しています。研究室では人工知能（AI）、数値解析、乗り物、情報分析、実験・ハードウェアの5つのグループに分かれて専門的な技術を磨きつつ、各グループ間の交流を活発に行い知識・知見の共有をしています。また研究で得られた成果は積極的に海外や国内の学会で発表しています。

私は乗り物グループで、自動車の電気電子機器を雷の被害から守る方法について研究しています。スペインのマドリッドで開催された国際学会で研究成果を発表した際、同世代の海外の研究者と交流し、親交を深められました。中でもウクライナ出身で現在ドイツで勤務している研究者の友人とは帰国後も連絡を取り合い、2023年5月に私がドイツを、9月には友人が日本を訪れました。この友人との交流は異文化を知ることができ、とても有意義なものとなりました。海外に行く機会を与えてくださった山本先生に感謝しています。研究室に来る時間は自由なので、課外活動との両立もしやすいです。また、歓迎会・バーベキューや地域で開催されるイベントにも参加する機会も多く、研究以外の面でも充実した学生生活を送ることができています。

ゼミ生レポート



大学院
電気電子工学専攻博士前期課程2年

磯部 亮太



ゼミ生に
ひとこと



電気電子システム工学科
やまもと かずお
山本 和男 教授

多くのことに自信を持って、何事においても率先して自分自身が
(できます)と手を挙げるができるエンジニアに育ってほしいと
思っています。そのようなエンジニアになるには、やはり、大学・大学
院時代の成長が重要になります。研究室の研究テーマは「雷」です
が、雷で壊れて困っているものは風車、自動車、ドローン、飛行機、
鉄道とさまざまです。研究を遂行する中で、多くのことにチャレンジ
して、失敗、成功を繰り返し、これからも成長してってください。

先生は
こんな人

面倒見が良くして親身になってくださる先生です。時間がな
い時でもプライベートの時間を削り学生を優先してくださ
り、先生は兄や父親のような存在です。私は先生から「大学
での時間は研究だけではなく自分磨きの時間にも充てなさい
」とご教授いただき、研究のみならず部活動や私生活にも
力を入れ、就職活動でもこれまで培った多くの経験を生か
すことができました。



わが クラブ

天文研究会

Club News No.195

個性輝くメンバーと 夜空を眺める



皆さんこんにちは、天文研究会です。

天文研究会は毎週水曜日と金曜日に活動をしています。ロマンチックに星を観ることができのほもちろん、部員数が他のクラブと比べて多く、さまざまな学部・学年の学生が所属しており、

アグレッシブな人も、シャイな人も比較的居心地の良い環境であることが魅力です。メンバーの一人一人が、星の輝きのように「自分の色」を持っていて、高校生活とは違って多様な人と出会うことができます。そのため、より充実した大学生活を送りたい人にはぴったりのクラブです。

活動内容は、星が観察できる時間までは部室でイベントの準備をしたり、お喋りやミニゲームなどを行っています。星が観えるようになったら望遠鏡や双眼鏡を用いて星座や惑星などを観察します。また、春日井キャンパス第1学生駐車場の一角に設置された天文台天体観測所へ足を運び、反射式望遠鏡で観察することもあります。天文台天体観測所には、観測セミナー室を併設した天文教育施設もあり設備が充実しています。

通常の活動の他には、新入生歓迎会や夏・冬合宿、大学祭への出展など年間を通してさまざまなイベントも行っています。新入生歓迎会はここ2年で100人が

参加しており、学部・学年を超えての交流が可能です。夏合宿・冬合宿には部員20〜30人ほどが参加しています。昼間はレクリエーションなどでコミュニケーションをとり、夜には星空観察に出掛けます。寝転がって一緒に観る夜空は格別で、部員同士の仲がより深まります。

天文研究会の活動を通してメンバーは太陽のようにアツくなります!!どのクラブに所属しようか迷っている方はぜひ気軽に部室へ足を運んでください。星に関する知識はゼロでも問題ありません。他学部や先輩・後輩などの縦のつながりが欲しい方も大歓迎です。お待ちしております!



天文研究会代表
心理学科3年
船崎 颯太



File.110

Luan Qipeng
栾 啓鵬さん

国際人間学研究科言語文化専攻博士前期課程2年

A Friend from Abroad



中華人民共和国(黒竜江省)
中国北東部の省で、省都はハルビン市。人口は約3,185万人で面積は460,000 km²。中部国際空港から中国国内の空港で乗り継ぎ約8時間の場所にある。中国の重要な食糧生産基地の1つであり、良質な黒豆(黒大豆)、大豆、小豆が生産されている。本学で中国語・中国文化派遣留学プログラムを行うハルビン理工大学がある。



中国人における 複合動詞の習得を研究

Q. 留学までの経緯を教えてください。

中国の大学在学中に日本語を専攻していました。卒業後に両親の勧めもあって、来日しました。その後1年半、日本語学校で学びました。その時の中部大学大学院に通っていたアルバイト先の先輩から勧められ、進学しました。

Q. 学んでいることは何ですか。

中国人における複合動詞についての研究をしています。複合動詞は「泣き叫ぶ」など動詞が組み合わされた言葉ですが、例えば「打ち明ける」などは「打つ」とも「明ける」とも関係がない意味を持ち、これらは日本語学習者にとって難しい言葉です。先行研究を読み複合動詞を分類し、中国人学習者の友人にテストを受けてもらい研究をしました。

Q. 日本の中で好きな場所とその理由を教えてください。

好きな場所は京都です。文化や歴史が

古く、日本人が大切にしている四季を感じられる場所だと思うからです。何度訪れても飽きないのが魅力で、年に1度は京都を訪れています。特に好きな場所は嵐山です。京都を訪れた際には必ず立ち寄ります。人が多いですが、きれいな紅葉を見ると心が癒されます。

Q. 好きな食べ物は何ですか。

火鍋です。辛い食べ物が好きです。中国の北部と南部では具材が変わります。北部は牛肉やラム肉などが入っており、南部はホルモンやハチノスなど内臓系の肉が入っています。日本人があまり好まないようなびっくりするような具材も多いです。中国で通っていた大学が四川省にあったので四川料理も好きです。反対に、嫌いな食べ物はブロッコリーです。見た目や味すべてが苦手です。

Q. 趣味は何ですか。

趣味はカクテル作りです。自宅にはお酒が80種類ほどあり、シェイカーもありま

す。飲むより作る方が好きです。レシピを組み合わせながら自分が表現したいものを作っています。先日は「秋」をテーマにしたカクテルを作りました。飲むのは苦手なので飲んでくれる友達がいると助かります。

Q. 将来の夢を教えてください。

博士前期課程修了後は就職先が決まっていますが、いずれもう一度大学院に通い博士課程で学び、大学の教員になるのが夢です。自分の知識を学生に伝えたいということ、自分に合うと思うからです。



〈取材〉
学生編集委員
ロボット理工学科2年
西岡 夏実

私の学生時代

歴史地理学科 佐々井真知 准教授



「やってみてみたい」で駆け抜けた4年間

私は大学4年間、フィギュアスケート部に所属していた。このことは、あまり公表していない。運動神経が極めて悪い自分がスケートをやっていたということをスケート王国愛知で公言するのが、なんとなく気まづかったからである。しかし、フィギュアスケート

なしで私の学生時代は語れない。書かねばなるまい。

繰り返しになるが、私は運動が非常に苦手で、体育の授業以外でスポーツをした経験はない。にもかかわらず、高校時代にフィギュアスケート観戦にはまって自分もやりたいと思うようになり、大学入学と同時にフィギュアスケート部に入った。個人レッスンも受けるほどのめり込み、日々練習に励んだが、身に付いたのは技術や表現力よりも脚のあぎで、試合の順位はたいいてい下から数えた方が早かった。それでもやめようとは思わなかった。昨日までできなかったことが今日はできた、という達成感のとりこになったのである。

当時は部員が各学年に1・2人しかおらず、3年次にはほぼ自動的に部の主将になった。4年次にはどうい

けか、日本学生氷上競技連盟という日本全国の大学のフィギュアスケート部、スピードスケート部、アイスホッケー部を束ねる団体の理事長になってしまい、1月に開催される日本学生氷上競技選手権大会の準備に追われた。そのため、大会と卒論の締切が重なり、卒論を締切の10日ほど前に提出して開催地の北海道に飛んだのであった。選手としても出場したが、運営の仕事に忙殺されて自分の演技はあまり記憶にない。

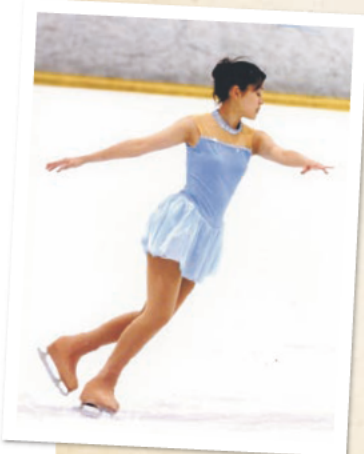
この時の経験が今の自分の……と、まとめたくなるころだが、諸々の経験が現在の仕事や生活に役立っているとは、今のところ思わない。ただ、学生時代を振り返ったときに真っ先に思い浮かぶ、不器用に走り回った(滑り回った)時間、それでいて氷の粒のよ

うにきらきらと光る時間、というだけである。しかしそれでいいのだ。やってみて、楽しいという理由だけで熱中したものがあつたことは、人生を「生きた」と言える一つの根拠だと思わなければならない。夢中になったものに熱中させてくれた周囲の人々には感謝してもしきれない。

役に立つか、自分に向いているかなどと考えずに、「やってみてみたい」という思いだけで突っ走ることも、長い人生の一幕にあつてもいいのではないだろうか。



▲フィギュアスケートの試合の運営。得点入力やアナウンスなどをする。立っているのが筆者。



▲試合で演技をする筆者

CAMPUS NEWS

2023年度 学長表彰の会



2023年度 学長表彰の会



2023年度 学長表彰の会

学術・研究や社会貢献、課外活動などの分野で顕著な業績を残した学生を表彰する学長表彰の会が、1月23日午後、不言実行館1階アクティブホールで開催された。

今年度は、65名が表彰され、竹内芳美学長から一人ひとりに表彰状と記念品が手渡された。その後、渡邊芽さん(現代教育学科3年)、小濱大和さん(情報工学専攻博士前期課程2年)、三井拓実さん(電気電子システム工学科3年)による代表スピーチと、記念撮影が行われた。



表彰された皆さん(敬称略)

田所 慎(ロボット理工学専攻博士後期課程3年)
 山中 都史美(ロボット理工学専攻博士後期課程3年)
 岩田 スラジユ(機械工学専攻博士前期課程2年)
 萩永 裕太(電気電子工学専攻博士前期課程2年)
 白木 翔大(応用化学専攻博士前期課程2年)
 小濱 大和(情報工学専攻博士前期課程2年)
 インブンタウ(ロボット理工学専攻博士前期課程2年)
 山本 悠貴(ロボット理工学専攻博士前期課程2年)
 池田 奈未(応用生物学専攻博士前期課程2年)
 大井 優奈(応用生物学専攻博士前期課程2年)
 大野 恵汰(生命医科学専攻博士前期課程2年)
 神谷 琢斗(情報工学専攻博士前期課程1年)
 川畑 駿太郎(生命医科学専攻博士前期課程1年)
 岩崎 陣(機械工学科4年)
 宇佐美 雄士(機械工学科4年)
 加藤 宏亮(機械工学科4年)
 加藤 優希(機械工学科4年)
 金澤 レオ(機械工学科4年)
 児玉 竜汰(機械工学科4年)
 春藤 文琉(機械工学科4年)
 出口 葉介(機械工学科4年)

原 良輔(機械工学科4年)
 山口 周平(機械工学科4年)
 浅野 颯斗(応用化学科4年)
 上原 大河(応用化学科4年)
 古橋 央圭(応用化学科4年)
 星野 まりん(応用化学科4年)
 原田 優輝(ロボット理工工学科4年)
 伊藤 翼(経営総合学科4年)
 中澤 隆之佑(経営総合学科4年)
 西村 魁生(経営総合学科4年)
 宮島 優洸(経営総合学科4年)
 安井 文香(経営総合学科4年)
 山本 さくら(経営総合学科4年)
 神成 穂乃香(英語英米文化学科3年)
 成木 美咲(英語英米文化学科4年)
 福永カカリナ奈美恵(英語英米文化学科4年)
 村上 ジマリ(英語英米文化学科4年)
 森崎 結貴(英語英米文化学科4年)
 山下 智子ケイ(英語英米文化学科4年)
 尾関 有香(英語英米文化学科4年)
 由利 梓(応用生物化学科4年)
 永戸 野々華(生命医科学科4年)
 新海 歩武(建築学科3年)

坂 幸祐(建築学科3年)
 嘉田 聖也(建築学科3年)
 鈴木 章吾(応用化学科3年)
 三井 拓実(電気電子システム工学科3年)
 伊東 凜香(日本語日本文化学科3年)
 上間 ギレルメ(英語英米文化学科3年)
 辻 雪乃(英語英米文化学科3年)
 ヤクーゾー 華練(英語英米文化学科3年)
 池田 翔統(心理学科3年)
 竹下 杏(心理学科3年)
 鈴木 稚菜(食品栄養科学科3年)
 関矢 真子(食品栄養科学科3年)
 高橋 光咲(食品栄養科学科3年)
 渡邊 芽(現代教育学科3年)
 小林 篤季(建築学科2年)
 辻 莉子(英語英米文化学科2年)
 亀田 山瑚(心理学科2年)
 浅野 蒼汰(日本語日本文化学科1年)
 杉浦 光一郎(日本語日本文化学科1年)
 兵藤 雷(日本語日本文化学科1年)
 横山 桜子(日本語日本文化学科1年)



2023年度 クラブ活動表彰式・同窓会課外活動表彰式

1年間で功績をあげたクラブ、努力したクラブなどをたたえるクラブ活動表彰式が、1月17日午後、不言実行館1階アクティブホールで開催された。

続いて同窓会課外活動表彰式も行われ、石田智久同窓会会長から表彰された。

受賞した団体・個人は以下の通り。



2023年度クラブ活動表彰 受賞者・団体 (敬称略)

クラブ活動優秀賞 (個人の部)

■ハンドボール部
中島 遼也 (経営総合学科3年)

クラブ活動奨励賞 (団体の部)

基礎スキー部
卓球部
空手道部
フライングディスククラブ
ラグビー部
剣道部
硬式野球部
ハンドボール部

クラブ活動奨励賞 (個人の部)

■卓球部
松岡 七海 (経営総合学科4年)
飯田 凱士 (コミュニケーション学科3年)
小倉 香乃 (現代教育学科2年)
春日井 健真 (経営総合学科1年)
■少林寺拳法部
川村 侑平 (環境生物科学科4年)
■陸上競技部
浅井 駿良 (建築学科3年)
中川 清矢 (スポーツ保健医療学科3年)
■トライアスロン部
木村 愛海 (理学療法学科4年)
西田 鉄平 (経営総合学科3年)
鈴木 颯斗 (歴史地理学科3年)
上村 洸太 (環境生物科学科3年)
中川 清矢 (スポーツ保健医療学科3年)
山崎 晃平 (スポーツ保健医療学科3年)
山田 壮流 (スポーツ保健医療学科1年)

■弓道部
河副 凌也 (情報工学科2年)
富田 彩佳 (心理学科2年)
中島 悠斗 (国際学科1年)

■水泳部
服部 稜歩 (歴史地理学科3年)
月元 凱信 (宇宙航空理工学科3年)
三瀬 瑠佳 (理学療法学科2年)

■将棋部
伊藤 優 (機械工学科2年)
■剣道部
増尾 海里 (スポーツ保健医療学科4年)

■硬式野球部
水野 壘偉 (経営総合学科3年)
佐野 大陽 (日本語日本文化学科3年)
清水 智裕 (日本語日本文化学科3年)
村木 陽亮 (歴史地理学科3年)
肥田 雄策 (経営総合学科2年)
田澤 徹汰 (国際学科2年)

■ハンドボール部
大貫 寛斗 (建築学科4年)
谷前 知優 (経営総合学科4年)
吉澤 知紘 (国際学科4年)
清水 大地 (日本語日本文化学科4年)
境 駿太 (経営総合学科4年)

井上 和哉 (経営総合学科3年)
小林 歩夢 (経営総合学科3年)
吉原 悠馬 (経営総合学科3年)

クラブ活動努力賞 (団体の部)

シンフォニックバンド
管弦楽団
ソフトボールクラブ

クラブ活動努力賞 (個人の部)

■ラクロスクラブ (男子)
岩田 悠太郎 (経営総合学科4年)
今井 智規 (日本語日本文化学科4年)
早川 修叶 (経営総合学科4年)
亀山 樹生 (経営総合学科4年)
上野 康志郎 (応用化学科3年)
■ラクロスクラブ (女子)
志水 春日 (スポーツ保健医療学科4年)
高山 愛莉 (食品栄養科学科食品栄養科学専攻4年)

■書道部
笠井 帆乃香 (日本語日本文化学科3年)
白崎 力 (日本語日本文化学科4年)
■弓道部
杉本 佳介 (日本語日本文化学科1年)

■卓球部
奥平 克海 (経営総合学科3年)
■ソフトボールクラブ
加藤 聖也 (スポーツ保健医療学科1年)
菊池 諒 (経営総合学科3年)
■ハンドボール部
山下 恭平 (経営総合学科4年)

クラブ活動功労賞 (団体の部)

弓道部
中部大学祭実行委員会
Clean Up Project(C.U.P.)
夏季課外教育活動リーダー
中部大学ボランティア・NPOセンター
クラブ運営委員会
中部大学音楽祭学生実行委員会

クラブ活動功労賞 (個人の部)

■弓道部
押谷 俊秀 (電気電子システム工学科2年)
登内 静紅 (建築学科2年)
■書道部
島澤 美羽 (コミュニケーション学科2年)
■ラグビー部
高見 修太 (日本語日本文化学科3年)
水嶋 陸 (経営総合学科3年)
佐藤 健斗 (国際学科4年)

クラブ活動特別賞 (団体の部)

漫画研究会

2023年度同窓会課外活動表彰 受賞者・団体 (敬称略)

団体の部

硬式野球部

ハンドボール部
剣道部
空手道部
卓球部
フライングディスククラブ

個人の部

■ハンドボール部
中島 遼也 (経営総合学科3年)
谷前 知優 (経営総合学科4年)
■少林寺拳法部
川村 侑平 (環境生物科学科4年)
■弓道部
富田 彩佳 (心理学科2年)
河副 凌也 (情報工学科2年)
中島 悠斗 (国際学科1年)
■剣道部
増尾 海里 (スポーツ保健医療学科4年)

特に功績を認められたもの

団体の部

管弦楽団
夏季課外教育活動リーダー
中部大学ボランティア・NPOセンター

個人の部

■硬式野球部
佐野 大陽 (日本語日本文化学科3年)
清水 智裕 (日本語日本文化学科3年)
村木 陽亮 (歴史地理学科3年)
肥田 雄策 (経営総合学科2年)
田澤 徹汰 (国際学科2年)
■ハンドボール部
清水 大地 (日本語日本文化学科4年)
■陸上競技部
浅井 駿良 (建築学科3年)
中川 清矢 (スポーツ保健医療学科3年)
■卓球部
春日井 健真 (経営総合学科1年)
飯田 凱士 (コミュニケーション学科3年)
松岡 七海 (経営総合学科4年)
小倉 香乃 (現代教育学科2年)
■トライアスロン部
木村 愛海 (理学療法学科4年)
西田 鉄平 (経営総合学科3年)
鈴木 颯斗 (歴史地理学科3年)
中川 清矢 (スポーツ保健医療学科3年)
山崎 晃平 (スポーツ保健医療学科3年)
上村 洸太 (環境生物科学科3年)
山田 壮流 (スポーツ保健医療学科1年)
■水泳部
月元 凱信 (宇宙航空理工学科3年)
服部 稜歩 (歴史地理学科3年)
三瀬 瑠佳 (理学療法学科2年)
■将棋部
伊藤 優 (機械工学科2年)

日本伝統文化推進プロジェクト

「一節切尺八・琴・三味線・歌で奏でる江戸期の音楽」

2023年12月13日午後、三浦幸平メモリアルホールで「一節切尺八・琴・三味線・歌で奏でる江戸期の音楽」が開催された。一節切尺八と琴や三味線による演奏が披露され、学生58人が参加した。

第14回中部大学
ESD・SDGs 研究・活動発表会

2023年11月29日午後、リサーチセンター2階大会議室で第14回中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会が開催された。学内外から9組が発表を行い、学生、教職員、一般合わせて109人が参加した。



第42回自分探しグループ

2023年10月25日、11月1・8・15日、学生相談室主催で自分探しグループが開催され、学生9人が参加した。自己理解・他者理解をしてより良い人間関係を築くための体験プログラムとして行われた。



障害者スポーツの体験 ふれあい交流2023

2023年12月10日午後、講堂(体育館)で障害者スポーツの体験 ふれあい交流2023が開催され、80人が参加した。伊藤守弘教授(スポーツ保健医療学科)らの講演会のあと、義足体験や車いすレーサー体験などを行った。



父母との集い

1・2年生の保護者を対象とした父母との集いが本学を会場に開催された。2023年11月11日は工学部、経営情報学部、国際関係学部、理工学部の保護者367人が、11月25日は人文学部、応用生物学部、生命健康科学部、現代教育学部の保護者380人が参加した。



第19回中部大学音楽祭

2023年12月17日、春日井市民会館で第19回中部大学音楽祭が開催され、5つの音楽クラブと中部大学第一高吹奏楽部から207人が出演した。司会進行は放送研究会の学生が務めた。



第46回バドミントン大会

2023年11月29日午後、講堂(体育館)で第46回バドミントン大会が開催され、ダブルス24組48人が出場した。優勝は薫森翔世さん(建築学科4年)・阿部孝祐さん(臨床工学科4年)ペア。



2023年度 二十歳を祝う会

1月15日午後、三浦幸平メモリアルホールで、2023年度二十歳を祝う会が開催された。今年、大学で二十歳を迎えた学生は2,689人。会には約200人の学生が参加した。HIPPY氏による講演と歌唱が行われた。



ちゅとらカップ 4時間耐久リレーマラソン

1月27日、第1学生ホール前を発着点としてちゅとらカップ4時間耐久リレーマラソンが開催され、学生47人が参加した。



日本伝統文化推進プロジェクト「日本の伝統話芸」

2023年11月8日午後、三浦幸平メモリアルホールで「講談と落語の世界」が開催された。講談師の旭堂麟林氏が創作講談を、落語家の登龍亭獅籠氏が落語と即興似顔絵を披露し、学生80人、教職員44人が参加した。



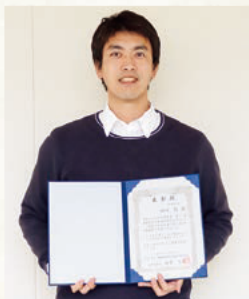
池田奈未さんが 日本農芸化学会中部支部奨励賞を受賞

池田奈未さん(応用生物学専攻博士前期課程2年、大西素子研究室)が、2023年10月1日に三重大学で開催された日本農芸化学会中部・関西支部合同大会で中部支部奨励賞(企業奨励賞)を受賞。受賞したテーマは「マルトビオン酸によるコラーゲン吸収促進効果の検証」。



田所慎さんが 電気・電子・情報関係学会 東海支部連合大会で 奨励賞を受賞

田所慎さん(ロボット理工学専攻博士後期課程3年、平田豊研究室)が2023年8月28・29日に豊橋技術科学大学で開催された電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会において奨励賞を受賞した。受賞したテーマは「前庭・視覚協調学習は金魚の慣性力・重力識別を可能にする」。



由利梓さんと平田梓紗さんが 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・ 第23回高山フォーラムで「優秀発表賞」を受賞

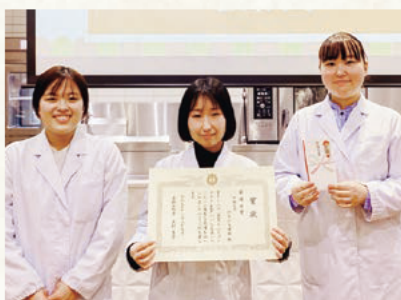
由利梓さん(応用生物化学科4年)と平田梓紗さん(同)が、2023年11月17・18日に高山市図書館で開催された日本分析化学会中部支部主催の「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第23回高山フォーラムで優秀発表賞を受賞。受賞したテーマは「健康診断での利用を目指した沪紙全血試料からの脂肪酸プロファイルの直接解析」。



左から由利さん、平田さん

鈴木稚菜さん、関矢真子さん、高橋光咲さんが 「食育レシピコンテスト」で最優秀賞を受賞

鈴木稚菜さん(食品栄養科学科管理栄養科学専攻3年)、関矢真子さん(同)、高橋光咲さん(同)が、2023年11月25日にみなとアクルス エネルギーセンターで開催された「食育レシピコンテスト」with “いいともあいち”の2次審査で最優秀賞を受賞した。3人が考案したのは、鬼崎漁業協同組合の海苔を使った「磯の香り漂う和風のりパエリア」。



左から高橋さん、鈴木さん、関矢さん

第14回法律カフェ 「一緒に考えよう!ChatGPTやAIによる 生成物の権利をめぐる法律問題」

2023年11月22日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・commonsで第14回法律カフェ「一緒に考えよう!ChatGPTやAIによる生成物の権利をめぐる法律問題」が開催され、学生11人が参加した。本学客員教授の田中淳子愛知学院大学社会連携センター教授と本学客員教授で弁護士の浅賀哲同センター教授らとAIによる生成物の著作権などについてグループワークで学んだ。



アジアサマースクール in Bangkok 2023 帰国報告会

2023年11月22日午後、リサーチセンター2階大会議室でアジアサマースクール in Bangkok 2023 帰国報告会が行われた。同年8月20日～9月2日の12日間、タイで実施されたアジアサマースクールに、タイ・フィリピン・ベトナム・ミャンマー・ネパールからの参加者と共に参加した学生8人が、アジア工科大学院での講義や、フィールドワーク、タイの歴史文化体験などについて報告した。



ウプト学生編集委員に表彰状授与

2023年11月30日午後、ウプト学生編集委員として企画・取材・原稿執筆に携わった4年生に対し、本学のPRに多大な貢献をしたとして、ウプト編集委員長の澤村隆秀教授(経営総合学科)から表彰状と記念品が授与された。表彰されたのは、石樽大宙さん(国際学科4年)、林桃歌さん(現代教育学科4年)、飯田ひとみさん(同)。



左から飯田さん、石樽さん、澤村教授、林さん

スポーツ保健医療学科の学生チーム 「中部救急隊」が第15回西日本学生 救急救命技術選手権大会で総合2位

スポーツ保健医療学科の学生チーム「中部救急隊」が2023年11月26日に本学で開催された第15回西日本学生救急救命技術選手権大会で総合2位となった。中部救急隊のメンバーは、森みなみさん(スポーツ保健医療学科4年)、笠松耕大さん(スポーツ保健医療学科3年)、鈴木真生さん(スポーツ保健医療学科3年)、宇恵惟織さん(スポーツ保健医療学科2年)、佐々木華音さん(スポーツ保健医療学科2年)、柴田陽菜さん(スポーツ保健医療学科2年)。



第3回中部大学野球フェスティバル

2023年12月2日、本学硬式野球部主催の野球フェスティバルが大学野球場と室内練習場で開催され、春日井市内の軟式野球チーム11チームから小学6年生86人が参加した。



学生寮餅つき大会

2023年12月20日午後、学生寮2階食堂で開催され、寮生32人、学生寮リーダー3人、教職員3人が参加した。



新刊紹介

シモーヌ・ヴェイユ「歓び」の思想

著者 鈴木順子教授
(創造的リベラルアーツセンター)
発行 藤原書店 2023年12月30日
定価 3,600円+税



牧内楓さんがTCM-TOEO 2023でPoster Silver Awardを受賞

牧内楓さん(応用化学専攻博士前期課程2年、山田直臣研究室)が、2023年12月11日~14日に京都府で開催された国際会議9th International Symposium on Transparent Conductive Materials & 13th International Symposium on Transparent Oxide and Related Materials for Electronics and Optics (TCM-TOEO 2023)でPoster Silver Awardを受賞した。受賞したテーマは「Fabrication of High-Pressure-Phase Rocksalt-MgSnN₂ Thin Films」。



吉田愛奈さんがかがやけ☆あいちサスティナ研究所成果発表会で優秀賞とオーディエンス賞を受賞

吉田愛奈さん(応用生物化学科2年)が所属するチームが、2023年12月10日に名城大学ナゴヤドーム前キャンパスで開催されたかがやけ☆あいちサスティナ研究所成果発表会で優秀賞とオーディエンス賞を受賞した。吉田さんは他大学の学生と一緒に「チームサンゲツ(パートナー企業:株式会社サンゲツ)」として参加し、「サステナブルな社会へ繋げよう!「みんな参加型のエコシステム」を企画せよ」という取り組みを行ったことが評価された。



Random Shot 第195回

学生の成長する姿が原動力



キャリア支援課
森田 浩一郎さん

2023年末にお子さんが生まれ、かわいい子どもの笑顔に癒されている。趣味は喫茶店やカフェで過ごすこと、ウイスキー等のミニチュアボトルの収集。ウイスキーは自宅に100本以上保管しており、国産ウイスキーの限定品も所有している。今後は遠方の酒屋や蒸留所を巡るのが目標。

全国屈指の就職率を誇る本学で、学生のキャリアサポートを行うキャリア支援課の森田さんはそこで在学生の就職関連イベントの企画・運営、履歴書などの添削・面接練習など選考についてのアドバイスや企業の採用担当者への対応を担う。「学生の就職活動を巡る状況は刻一刻と変化し、学生の混乱を招いています。その時々によって学生に必要と思われることを企業との情報交換を踏まえ検討し、イベントや就職ガイダンスにて反映していきます」

昨年、キャリアコンサルタントの資格を取得した森田さん。学生からの相談には「傾聴」を心掛け、就職活動の進捗は常に気にかけているという。「学生の皆さんには『二人の大人』として向き合うようにしています。内定報告もとてもうれしいのですが、会う度に成長する学生の姿を見るとやりがいを感じます」

チーム意識を持つて

本学応用化学科卒業生の森田さんは、学生時代は中部大学ボランティア・NPOセンターで社会教育プロジェクトに所属し、運営委員長を務めた。「在籍者が300人を超える大規模な学生団体でした。私の代では、設立10周年の記念式典を開催しました。50人以上の実行メンバーと協力し、約180人が出席したイベントを無事開催できました。この経験は、今も仕事に取り組みうえで、大きな糧になっています。企業も学生の皆さんに『チームの一員として活躍すること』を期待していますので、友人や教職員とたくさん交流して、学生生活を謳歌してください。就職活動はもちろん、学生生活や将来について不安や疑問がある時は気軽にキャリア支援課までお越しください」とメッセージを送る。

医療法人澄心会
岐阜ハートセンター
管理栄養士

畠田 陸人さん

2020(令和2)年度食品栄養科学科管理栄養科学専攻卒業

栄養管理で命を支える

岐阜県岐阜市にある岐阜ハートセンターは、心臓などの循環器を専門とする病院で、緊急搬送される急性期の患者さんから慢性的な疾患を持つ患者さんまで幅広く治療している。管理栄養士として勤務している畠田陸人さんは本学食品栄養科学科管理栄養科学専攻の卒業生で、入院・外来患者さんへの栄養指導、食事指導を月40~50件ほど担い、現在4年目となる。患者さんの運動量と栄養とのバランス管理や、食事の仕方についての指導のほか、調理業者が作成する献立・レシピのチェックなども行っている。また、医師や看護師、理学療法士などさまざまな職種の人とも連携して疾患やその症状に合わせた栄養管理も行う。

「患者さんの症状や服用している薬によっては、摂取すると命に関わる食べ物もあり、間違った指導ができないため緊張感を持って業務に当たっています。また、食事は適切な量、栄養状態が良いかなどを毎日確認し、患者さんの変化に早期に対応できるようにしています」

指導ではなく 対話を心掛けて

毎日さまざまな年齢や症例の患者さんを指導する畠田さんは、自身の体調

管理にも気を配る。「自分の食事での栄養面は特に気を付けています。指導する管理栄養士が太っていたり不摂生をしていたら、患者さんにも響かないと思うので」

指導の際には患者さんの生活環境を重視し、寄り添う指導を心掛けているという。

「食事制限がある患者さんは、回復して元気になるにつれてどうしても栄養管理が難しくなってしまいます。そうした場合は目の前のできそうなことから提案します。例えば、毎日の晩酌を週3回に減らす、などです。時には指導に関係ないプライベートな話も織り交ぜながら、患者さんが楽しく取り組めるようにしています。患者さんが元気に退院される姿を見るととてもうれしいです」

身近な食について学んで

食べることが大好きで、「食」に携わる資格が取得できると思い、本学食品栄養科学科管理栄養科学専攻に進学した畠田さん。

「学科では栄養素の勉強のほか、ラットの解剖もしました。実際の臓器を観察することで身体の仕組みを知ることができました」

当初は食品メーカーへの就職を考えていたが、3年生の時に地元の病院で臨地実習をしたことがきっかけで、病院の管理栄養士を目指すように。「患者さんや医師など人と関わる機会が多いことや自分の声が直接相手に届くことに魅力を感じました」

他人を頼る大切さ

現在、心臓リハビリテーション指導士の資格取得を目指し、勉強を重ねる畠田さん。心疾患に関するガイドラインを読むだけではなく、分からないところがあれば先輩や医師に質問して学んでいるという。学生の皆さんに、「勉強は毎日の積み重ねが大事です。自分で調べることも大切だと思いますが、分からないところを恥ずかしいと思わずに、積極的に先生や友人に聞いてください。先生も優しく教えてくださいますし、話をすることでお互いの知識も深まると思います。国家試験の勉強は、4年分一気に勉強するよりも、分からないことはその都度1つずつ解決した方が身に付きますし、合格に近づくとと思います」とメッセージを送る。



うら話



▲記念写真を撮る参加者

ちゅうとらカップ 4時間耐久リレーマラソン



▲優勝した中部大学第一高校Bチーム(74周)



▲豚汁を提供した学生たち



1月27日に第1学生ホール前を発着点として学内を周回する、ちゅうとらカップ4時間耐久リレーマラソンが行われました。2022年度に続いて2回目となる今年度は大学、併設校の中部大学第一高校と中部大学春日丘高校、近隣の春日井高校も出場し、全部で17チーム84人が参加しました。1周約1kmのコースを、チームでたすきをつなぎながら4時間走り、ペンギンやウマ娘などのコスプレをして走る学生の姿も見られ、大いに盛り上がりました。また運営にはクラブ運営委員会とEMS (Emergency Medical System) の学生たちが手伝い、食品栄養科学科管理栄養科学専攻の学生たちが調理した豚汁を振る舞っていました。終了後には記録証が手渡され、参加者たちはチームメイトと笑顔で健闘を讃え合い、記念写真を撮影していました。

編集 後記

2024年明けは心配なニュースが多く、少し暗い幕開けとなりました。令和6年能登半島地震により被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っています。本学でもWebサイトで関連情報を適宜ご案内をしているほか、ボランティア・NPOセンターの学生による募金活動を行いました。今号の学生編集委員のページ(P.11・12)では、学生生活の悩みについて特集しています。体調や学業で心配なことがある時にぜひ参考にしてください。

中部大学通信 ウプト No.228

発行日/2024年2月28日
 発行/中部大学ウプト編集委員会
 編集/学園広報部 制作課
 〒487-8501春日井市松本町1200
<https://www.chubu.ac.jp/>
 Tel:0568-51-4465(制作課直通)
 E-mail:cuinfo@office.chubu.ac.jp